

＜定時総会開催のお知らせ＞

令和5年6月吉日

青々会会員各位

青々会会長 落合 寛司

青々会会則第4章第17条に基づき、青々会定時総会を下記により開催いたします。

会員各位のご出席をお願いいたします。
記

- ◇期日 令和5年6月25日(日)
◇時間 午後3時から
◇場所 亜細亜大学 200教室
(武蔵野キャンパス2号館1階)
◇内容
総会:新協議員選出ほか
協議員会
(※懇親会は、開催予定です)

協議員会3年ぶり開催



会則の一部変更も

令和5年度の協議員会が、令和4年11月3日に母校5号館の551教室で行われた。



発行所
東京都武蔵野市境5-8
亜細亜大学同窓会 青々会
電話 0422-51-1600
FAX 0422-51-0929
振替 00100-2-80629



青々会HP



HPで最新情報、お知らせを

青々会ホームページでの双方向の交流を目的とした「アジア青々会ネット-亜細亜大学」を積極的にご活用ください。

また、この青々会報の発行が年1回となっておりますので、最新情報をアップ、更新している青々会のホームページもぜひご覧ください。上のQRコードもしくは大学のホームページから「卒業生の方へ」→「同窓会・青々会」をクリックしてご覧ください。

前年度も年間で20回ほどアップしております。

**令和5年度
主な学事日程**

▽入学式 4月3日(月)
▽出会の広場 4月7日(金) 10時～13時(水)
▽授業 春学期 4月14日(月)～7月24日(月)、秋学期 10月2日(月)～1月20日(出)
▽体育祭 5月21日(日)
▽定期試験 7月27日(水)～8月2日(水)、1月24日(水)～

1月30日(水)
▽夏季休暇 8月4日(金)～9月30日(出)
▽冬期休暇 12月26日(火)～1月5日(金)
▽春期休暇 2月1日(木)開始
▽アジア祭 11月1日(水)～5日(日)、1日が準備日、5日が後片付け日
▽卒業式 3月15日(金)、9月25日(月)

44件、総額146万1千2千円、このうち卒業生が件数で114件、金額では408万6千円となっております。また「日の出キャンパス再開発事業募金」では総額1430万7千円で全256件のうち147件が卒業生で、金額では539万6千の寄付となりました。

さらに新たな取り組みとして、海外留学における参加費の補助を目的とした「教育研究振興資金」への援助・協力を呼びかけています。これまでの寄付金の状況は、令和4年度の「教育研究振興資金」では、総数1

寄付金のお願い 前年度報告と新たな取り組み

母校では、教育研究環境のさらなる充実を目的とした「教育研究振興資金」「スポーツ振興資金」「冠は、令和4年度の「教育研究振興資金」では、総数1

**令和5年度
第1回幹事会**

令和5年度第1回幹事会を令和4年11月3日(木)青々会本部会議室で実施し、各議案承認された。幹事数65名

出席31名 委任状提出30名
第1号議案 令和4年度事業報告・決算報告について
第2号議案 令和5年度事業計画・収支予算案について
第3号議案 青々会賞・組織活性化賞について

令和5年度幹事会報告

(6)に会員の情報伝達のツールとしてホームページを運営、を追加。さらに(7)本会の目的にそつ事業を、(7)その他本会の目的に沿う事業に改めた。その結果、今回上程された次の3議案すべてが了承された。

第1号議案
令和4年度事業報告・決算報告について
第2号議案
令和5年度事業計画(案)・収支予算案について
第3号議案
会則の一部変更について

令和5年度の協議員会が、令和4年11月3日に母校5号館の551教室で行われた。

**令和5年度
第2回幹事会**

令和5年度第2回幹事会を令和5年3月13日(月)青々会本部会議室で実施し、各議案承認された。幹事数65名

出席24名 委任状提出30名
第1号議案 協議員選出規程の改定について
第2号議案 協議員候補について
第3号議案 定時総会開催について
第4号議案 事務局長の任期延長について

第4号議案 会則の一部改定について
第5号議案 青々会スポーツ活動奨学金制度について
第6号議案 連合会長・支部長の幹事・協議員選任について
青々会賞
◎個人の部▽
◎山崎 郁美(法・3年) アジア女子ローンテニス部
◎青山 美夏人(法4年) 硬式野球部
◎松本 晴(法4年) 硬式野球部
◎田中 幹也(経営4年) 硬式野球部
◎重松 凱人(経営4年) 硬式野球部
◎草部 真秀(法4年) 硬式野球部
△団体の部▽
◎硬式野球部
◎組織活性化賞
コロナ禍で令和4年度も支部活動を中止したので表彰を行わない。

令和5年度入試結果

(各種推薦入試、一般入試、留学生入試など)

学部学科	志願者数	合格者数
経営学部経営学科	2,338 (4)	1,115 (4)
経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科	962 (2)	383 (2)
経営学部データサイエンス学科	339	295
経済学部経済学科	1,511 (4)	608 (4)
法学部法律学科	1,686 (1)	987 (1)
国際関係学部国際関係学科	713	458
国際関係学部多文化コミュニケーション学科	786	485
都市創造学部都市創造学科	536 (1)	434 (1)
大学計	8,871 (12)	4,765 (12)

※ () 内は同窓生子女入試の内数。



◆アジア・国際経営戦略研究科28人◆経済学研究科2人◆法学研究科7人(留学生別科)15人

**学部1326人が卒業
令和4年度卒業式**

令和4年度の卒業式が、3月15日に午前部のシヨン学科、都市創造学と午後部の2部構成で4学科の、午後2時から午前10時からの第1部は経営学部経営学科とホスピタリティ・マネジメント学科、経済学部経済学科236人◆法学部法律学科305人◆国際関係学部(国際関係学科及び多文化コミュニケーション学科)220人◆都市創造学部都市創造学科118人 学部合計1326人(大学院)



また昨年に続いて、青々会の認知を図る目的で制作した青々会のホームページにアクセスできるQRコード付きカードを全卒業生に配布した。令和4年度の各学部・学科の卒業生数は次の通り。

学科、大学院各研究科、そして留学生別科の卒業式が行われた。
好天に恵まれた当日は、式が終わった後、マスクなしの晴れやかな表情で記念撮影に収まる卒業生が多かった(写真左)。

令和5年度事業計画

（令和4年10月1日）令和5年9月30日）

新型コロナウイルスの感染威力は、衰えることなく猛威を振るっており、社会、経済活動は自粛規制等が緩和され行動制限もなく、以前の状態にもどりつつあります。

令和5年度については、感染防止を図りながら通常の事業活動の実施を念頭に、次の通り事業計画を提案いたします。

△本年度事業計画▽

1. 定時総会の開催（会則第15条関係事業）
再延長となりました定時総会を次により実施する。
開催日：令和5年6月25日（日）
令和5年5月以降ホームページに定時総会の開催時間・会場について告知する。
2. 青々会ネットワークの取組み
ネットワークの強化を図るため次の取組みの実施。
●ホームページに新設の交流掲示板「アジア青々会ネットワーク」を活用したビジネスネットワーキングの構築及び交流の場を企画する。
3. ホームページの充実
青々会の重要事項及び総会開催の公告はホームページを活用する。また青々会本部、各支部及び大学の情報の迅速な配信に努める。
4. 会報発行（会則第5条第1号関係事業）
アジア青々会ネットワーク登録者の増加とネットワーク活用促進を図る。
5. 定例協議員会の開催

青々会の皆様方は、お元気で充実した日々を送られていることと思います。
3年以上にわたるコロナ禍の影響で青々会の活動は大きく制約を受け支部総会なども開催できない状況でした。その結果、本部との連携も希薄なものとなってしまいました。

反面、このコロナ禍は、世の中も大きく変えてしまいました。
具体的には、デジタル化を大きく推進しました。例としては、

③その他飲食業やホテル等観光事業など産業界にも大きな影響を与えました。その結果として運営方法やデジタル化等で大



「コロナ禍での変革とネットワークづくり」

青々会会長 落合 寛司

インテグレーションやマーケティング戦略まで変えてきています。

③ 「同窓生子女入試」について
今年度も卒業生子女、弟妹、孫に関する同窓生子女入試は、経営学部、経済学部、法学部及び都市創造学部で募集され、令和5年度入学試験は令和4年11月27日（日）に実施される。

8. 興亜神社例祭の挙行
母校との共催による戦没校友の御霊を祀る興亜神社例祭を挙げる。

6. 幹事会の開催予定（会則第22条関係事業）
令和4年11月、令和5年3月、6月、9月の4回開催する。

7. 会議・会合の開催（会則第5条第2号関係事業）
1）三役会の開催
執行部の連絡協議体として幹事会開催時の定例開催のほか必要に応じて開催する。

10. 「新春の集い」の開催
令和5年1月の開催を検討（実行委員は平成元年度卒と同16年度卒）。会場はASIA PLAZA 4階で、借用について大学と協議、コロナ感染対策上飲食

このコロナも第5類に認定され平常の社会と暮らしに戻りつつありますが、この変革期をチャンスにするための活動としては、自分一人で課題解決に向かうのではなく、多くの人の能力や情報等を結集するビジネスネットワークが大切です。

この変化をチャンスとするためには、当面の変化要因を的確に捉えて新たなビジネスモデルの構築やノウハウを活用した課題解決を心掛けることが大変重要になります。

そして、この変革期に対し、既成概念を持たずポジティブに取り組み、この変革期を絶好のチャンスと考え活

令和5年度 収支予算

（自令和4年10月1日～至令和5年9月30日）

（単位：円）

科 目	令和5年度 予 算 額	令和4年度 決 算 額	差 異	摘 要（予算説明）
【収入の部】				
会費収入	30,940,000	33,555,000	△ 2,615,000	
当年度会費	30,580,000	33,555,000	△ 2,975,000	令和3年度青々会会費
過年度会費			0	
特定会費	360,000	0	360,000	「新春の集い」開催3,000×70名・大学150,000
業務委託料	1,000,000	1,000,000	0	令和4年4月～令和5年3月間の名簿管理委託料
受取利息	106,000	105,978	22	基本財産定期預金金利他
寄付金収入	0	0	0	
当期収入合計	32,046,000	34,660,978	△ 2,614,978	
前年度繰越金	49,619,803	37,983,652	11,636,151	
収入合計	81,665,803	72,644,630	9,021,173	

【支出の部】				
人件費	8,360,000	8,358,900	1,100	
給与	7,920,000	7,925,500	△ 5,500	事務局長・常任幹事・パート
通勤手当	440,000	433,400	6,600	通勤定期代
退職金			0	
消耗品費	30,000	12,501	17,499	事務用品
印刷費	200,000	144,716	55,284	支部総会案内往復書・青々会封筒
通信費	400,000	248,653	151,347	電話・FAX、ビジネスフォンリース・会議資料郵送等
交通費	2,350,000	131,300	2,218,700	連合会、支部総会出張旅費（全国で開催予定）
賃借費	40,000	38,940	1,060	タナック印字プリンターの年間リース料
会費	6,500,000	5,847,884	652,116	年1回の発行。
印刷費	1,400,000	814,385	585,615	会報119号05.07頃発行予定 4Pを8Pへ紙価格20%
会報発送費	5,100,000	5,033,499	66,501	会報119号国内62千通、海外1千通郵税
奨学費	2,700,000	2,700,000	0	27名×10万円
補助費	1,000,000	550,000	450,000	青々会賞7件・補助12団体予定
援助費	9,000,000	831,991	8,168,009	連合会、支部総会開催時支援（全国で開催予定）
支部援助費	8,300,000	831,991	7,468,009	総会案内発送・回収、開催時費、お祝（全支部開催見込）
連合会援助費	700,000	0	700,000	14連合会総会開催予定
行事費	250,000	0	250,000	興亜神社例祭土産代、御饗生花
会費	1,350,000	48,048	1,301,952	05.06月開催
総会費	350,000	0	350,000	幹事会4回・三役会4回開催予定・新春の集い800千円
会議費	1,000,000	48,048	951,952	04年11月3日ホム・デ（今年度中止）
ホームページ費	3,100,000	2,783,000	317,000	H1P運営料月額104千円新規掲示板153千円
雑費	150,000	86,736	63,264	振込手数料、慶弔関係他
備品費	100,000	1,242,158	△ 1,142,158	ジュレッター購入
当期支出合計	35,530,000	23,024,827	12,505,173	
当期収支差額	△ 3,484,000	11,636,151	△ 15,120,151	
次年度繰越金	46,135,803	49,619,803	△ 3,484,000	

（注記） 1. 決算額に対する予算額の増・減(△)記号。
2. 経理規程第25条に則り、事業部門の予算を流用することができる。

① 大学とも連携を取り合いながら共同歩調で次の検討を進める。
・連合会・支部総会活性化支援
・硬式野球部OB会連携支援及びクラブ、ゼミ、寮OB会の名簿等作成依頼時に際し支部総会参加への協力要請をする。

② 個人情報保護に関する取組み
個人情報保護に十分意をもちながら会員名簿管理の徹底に努める。
なお、各支部からの要請による支部会員名簿の配付事業は従来通り継続する。

③ 連合会長・支部長会議
今年度は、コロナ禍で支部連合会活動が出来なかつたこと等により開催を中止する。
4 活性化に貢献した支部及び個人の表彰
前年度は、コロナ禍で活動が出来なかつたことによる表彰が出来なかつたことによる。

④ 大学とも連携を取り合いながら共同歩調で次の検討を進める。
・連合会・支部総会活性化支援
・硬式野球部OB会連携支援及びクラブ、ゼミ、寮OB会の名簿等作成依頼時に際し支部総会参加への協力要請をする。

⑤ 個人情報保護に関する取組み
個人情報保護に十分意をもちながら会員名簿管理の徹底に努める。
なお、各支部からの要請による支部会員名簿の配付事業は従来通り継続する。

⑥ 連合会長・支部長会議
今年度は、コロナ禍で支部連合会活動が出来なかつたこと等により開催を中止する。
4 活性化に貢献した支部及び個人の表彰
前年度は、コロナ禍で活動が出来なかつたことによる表彰が出来なかつたことによる。

⑦ 大学とも連携を取り合いながら共同歩調で次の検討を進める。
・連合会・支部総会活性化支援
・硬式野球部OB会連携支援及びクラブ、ゼミ、寮OB会の名簿等作成依頼時に際し支部総会参加への協力要請をする。

⑧ 個人情報保護に関する取組み
個人情報保護に十分意をもちながら会員名簿管理の徹底に努める。
なお、各支部からの要請による支部会員名簿の配付事業は従来通り継続する。

⑨ 連合会長・支部長会議
今年度は、コロナ禍で支部連合会活動が出来なかつたこと等により開催を中止する。
4 活性化に貢献した支部及び個人の表彰
前年度は、コロナ禍で活動が出来なかつたことによる表彰が出来なかつたことによる。

連合会・支部総会報告

連合会総会

東北連合会



主幹支部の山形県支部より①事業・会計報告②各支部の活動状況報告を各支部長よりあった。③次期連合会主幹支部は青森県支部である旨を確認した。
◎総会・懇親会
工藤連合会長の挨拶後、来賓の亜細亜大学学長永綱憲悟先生から大学の近況等の挨拶、また青々会副会長の挨拶後議案の審議入り、①令和元年度活動報告並びに会計報告の承認②次期東北連合会主幹支部が青森県支部であることを確認した。



埼玉県連合会

「太鼓」で盛り上がり会員相互の懇親を深めた。

② 大学との連携強化
日常業務から事業実施に至るまで大学と良好な関係をもって連携を図る。

③ 会員移転先不明者追跡調査
年1回の会報並びに支部総会案内状送付の宛先不明の返送分は、年間約1,500件前後で推移している。引き続き返送されてきた宛先不明者について調査を実施し、正確な会員情報の把握に努める。

④ 新会員、令和4年度卒業生の住所、就職先、ゼミ・クラブコード等のデータ入力を行う。

⑤ 個人情報保護法に則り、会員情報の取扱いを行う。

以上

令和4年11月27日（日）午後2時20分からさいたま市の寿司割烹「山水」において参加者30名で開催した。

◎支部長会議
高橋連合会長他各支部現支部長、県西・県央の新支部長（候補）を含め開催し、3面に続く

20年ぶり5度目の日本一 硬式野球部

決勝で完勝

昨年の6月12日に行われた第71回全日本大学野球選手権の決勝で、母校は平成25年の同選手権決勝で5対6と敗れた上武大学に7対1で完勝し、2002年以来20年ぶり、5度目の優勝を飾った。生田勉監督にとっては、監督として初めての全日本選手権優勝となった。

近畿大学、名城大学、東日本国際大学を破って臨んだ決勝戦。3回に先制すると続く4回にも2点を奪い、試合の主導権をがっちりつかむ。そして6回にはホームスチールで加算。今大会を象徴するような機動力で相手を翻弄。8回に1点を奪われたものの終わっ

2022年度

てみれば12安打とホームスチールを含めた4盗塁。生田監督は平成16年(2004年)にコーチを経て監督に就任。秋の神宮大会では3回優勝しているが全日本大学野球選手権では今

回が初めての優勝となった。母校の優勝回数は今回で5度目。過去4回は、昭和46年に初めて全国制覇を果たして以来、平成2年(1990年)、平成12年(2000年)、平成14年(2002年)に栄冠に輝いた。

11年ぶりの2部昇格

関東大学サッカーリーグで

昨年、サッカーW杯で日本中が沸き立つ中、母校のサッカー部が11年ぶりの2部昇格を果たした。関東大学サッカーリーグ戦の2部参入プレーオフが12月3日に行われ、母校は年間2部9位の慶應義塾大学と対戦し、2対1で勝利。

軟式野球部も11年ぶりに1部復帰

軟式野球部も、11年ぶりに1部復帰を果たした。12月6日行われた東都学生軟式野球連盟秋季リーグ入れ替え戦(対東洋大学川越)で2勝を先取したものの、

バレー部は3位ながらも個人賞を

バレーボール部は「春季関東大学男子2部リーグ戦」で8勝3敗で3位となったが、法学部3年の佐々木明澄君がサーブレシープ賞を受賞した。リベロの佐々木君はリーグ戦全11試合に出場し、安定したサーブキヤッチを繰り広げた。

全日本学生テニスで 山崎さん初優勝

昨年の全日本学生テニス連盟主催「2022年度全日本学生テニス選手権大会(男子90回/女子66回)」で山崎郁美選手が見事初優勝を果たした。平成10年の優勝以来24年ぶりの栄冠だった。

全日本大学女子駅伝で20位

女子陸上競技部

22年ぶり8回目の出場となった第40回全日本大学女子駅伝が昨年の10月30日に仙台市で行われ、母校の女子陸上競技部は、総合20位と健闘した。

「銀座スエヒロ」に

学食の委託業者

学食の委託業者が「銀座スエヒロ」に変更された。学生食堂(ASIA PLAZA A1階)が4月17



提供カウンター①と食事風景①



正否を見極める力を

「私が学長に就任して1年半が経ちました。この間、卒業生の皆様からの建設的なアドバイスも受けながら、教育、研究、社会貢献など、様々な分野で成果を出すことができました。大学の将来を考えると、皆様の支援が必要不可欠です。私たちは、この重要な使命を果たすために、卒業生の皆様の参加と協力を期待しています」。

以上は、評判のAI、ChatGPTが創作した、皆様へのご挨拶です(若干の語句修正を施しました)。AIは、ものの15秒でこれを作成しています。出来栄はいかがでしょう。質問をうまく設定すればAIはそれなりの挨拶文を作り出せます。一方、たとえば「明日の天気を教えて下さい」と聞くと、「現在までの情報しかもっていないので回答できません」と返ってきたりします。

「デジタル・AI時代の大学教育」

学長 永綱憲悟



ことがすでに前提となっています。かつてのようなプリント大量配布時代はほぼ終わりつつあるといえるでしょう。

一方、文部科学省は、学生が自分自身の学修成果を把握し、それを基礎として学習を続ける体制の整備を求めています。これは「学修成果の可視化」と呼ばれるもので、本学においては、学修成果をリーダーチャートで提示する独自の仕組みを構築しました。学生は自分のPCでいつでも確認できます。これにより学生は、自分が、たとえば社会科学の基本知識の習得はできたものの、国際理解力が不足しているといった自己診断を行うことができるわけです。

変貌中の教育現場 一方、受験生向けの『大学案内』も、大学公式サイトと連動し、詳細情報はQRコード経由でサイトに確認できるようにしています。公式サイト自体も大きく刷新され、とりわけ、各学部等が独自発信のページを持つようになり、迅速に学部学科の情報を伝えることが可能となりました。デジタル時代は、その意味でも、各部署に情報発信を任せるといった分権発想とも繋がっています。

こうしてデジタル・AI時代の中で亜細亜大学の姿も確実に変貌を遂げつつあります。しかし、むしろ、身の人間同士の交流がなくなっただけではありません。

感染症規制から解放された教室では熱気を帯びた討論の音が聞こえてきます。また、皆さまのご支援を得て、最新設備を伴う施設が整った日の出キャンパスでは、活発な体育会活動が行われています。昨年春の硬式野球部全国制覇、8月の女子テニス個人日本一、仙台と富士山の二つの大会での女子駅伝チームの善戦などはその成果の一部となります。さらに伝統のAUP米国留学も復活し、加えてマレーシアでの英語学習留学(AUASP)が開始され、国際交流の再活性化も進んでおります。総じて、デジタルとリアルの両面で私の唱える「楽しい大学」が展開されていると申し上げたいと思います。

さて、末尾となりましたが、対面交流再開に伴い、昨年度、私も青々会支部総会にお招きいただきました。秋田では、ナマハゲ演舞と日本酒、埼玉では野菜すしを堪能させていただきました。この場をお借りして、ご関係の皆様にご心より御礼申し上げます。各支部の皆様への熱い思い、あるいは恩師の先生方への感謝の気持ちをひしひしと感じました。

このような交流から得られる感覚は、AI応答やネット交流では決して得られないものであり、人々を元気づけるものです。大学教育でもそのことは決して忘れないようにしたいと思っております。それゆえ今年も、お招きがあれば、日程の許す限り皆様の元を訪ねさせていただきます。それでは、皆様、本年度もよろしくお願いたします。

定年退職者

令和5年3月末日をもって定年退職した専任教職員は教員8氏、事務職員1氏でした。

【教員】齊藤洋教授(経営学部)、菊池久一教授(長江川美紀天教授・永綱憲悟教授(以上国際関係学部)、木嶋豊教授・張相秀教授・松岡拓公雄教授(以上都市創造学部)

【事務職員】坪内みゆきさん(総務部人事課)

令和6年2月に母校で 第6回 地域ファミリ

コンサート
吹奏楽団の卒業生と現役